

畑中雪江

小さい人

遠い日、わたしはあなたから

声を取り上げ、閉じ込めた

声は、わたしに逆らうばかりで

どこにも届かないから

でも、あなたはずっと見てくれていた

いつも微笑んでくれていた

閉じ込めて見向きもしなかったわたしを

さあ、扉を開けに、あの日に帰ろう

行ってあなたに謝ろう

わたしは、あなたに声を返して抱きしめる

そして、長い間のみこみ続けた声の欠片を

二人で空に向かって飛ばすのだ